



イベント案内



〒689-3401 米子市淀江町今津 50-1
淀江の宿 今津田中家
<https://www.imazutanakaya.com>
株式会社ウォリス
代表取締役 高岡 洋子

2021年4月17日(土) 11:00~15:00

【世界の旅】第1回:~グルメ編~ハンガリーの家庭料理

淀江の宿 今津田中家 のカフェスペース (えん LDK) では、世界を体感できるイベント「世界の旅 ●●編」を定期的
に実施したいと思っています。記念すべき第1回は、「世界の旅~グルメ編~」

米子市大篠津町在住、ハンガリー・ブダペスト出身の Deli-Art 合同会社 ツァイドラー・オットー (Zeidler Ottó)さん
とお母様をお招きして、ハンガリーの家庭料理を提供していただきます (お持ち帰りも可能です)。

ぜひ、お気軽にお越しください。

※コロナの情勢等によって、変更になる場合があります。詳細は、ホームページ・SNS・チラシ等で告知します。

※体調の悪い方・発熱のある方のご来場はご遠慮ください。※マスクのご着用をお願いします。

今回の販売メニュー



スープ:

パプリカ・グヤーシュ煮込み

※シチューのようなもの

※ハンガリーの国民食



メイン:

チーズ三種の手作りニョッキ

(じゃがいもダンプリング)



デザート:

シナモンとリンゴのハンガリー
のパイロール

飲み物:レモンスカッシュ、エルダーフラワードリンク、ラズベリードリンクなどのソフトドリンクのほか、
ちょっと贅沢なハンガリーのアイスワイン、雄牛の血ワイン



Deli-Art 合同会社 ツァイドラー・オットー (Zeidler Ottó)さん

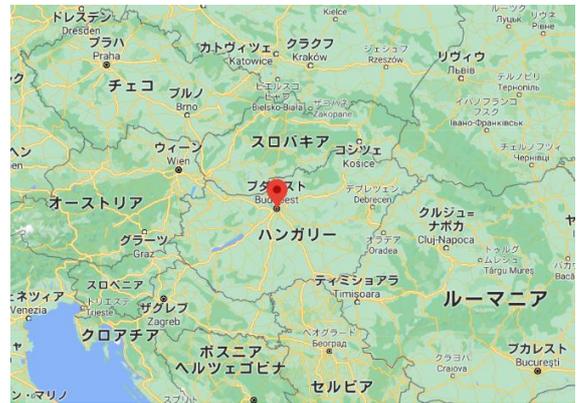
1996年ハンガリー・ブダペスト市生まれ。高校時代から日本語を独学。

2016年から鳥取県倉吉市の短期大学に留学。ヨーロッパ・ハンガリーを紹介する講演会や料理教室の主催など、卒業まで県内で国際交流に取り組んだ。日本ではまだ珍しい屋台料理を扱う「ヨーロッパ屋台」を展開したいと夢を持ち、2020年 Deli-Art 合同会社を設立。ハードルの極めて高い起業ビザを取得

できた外国人として、山陰地方で初の事例となった。移動販売車(キッチントレーラー)を導入し、屋台でイベントに出店している。



ハンガリーってどこにある？



ハンガリーが位置するのは中央ヨーロッパ、ちょうどヨーロッパのど真ん中あたりです。

西にオーストリア、スロベニア、北にスロバキア、東にウクライナ、ルーマニア、南にセルビア、南西にクロアチアに囲まれた内陸国です。

ハンガリーの緯度は北海道と同じくらい。典型的な大陸性気候で、日本と同じように四季があります。また、夏と冬の温度差も大きいです。降水量は年間を通して少なく、ヨーロッパでは雨季とされる秋～冬にかけてもじめじめした感じはありません。夏の平均気温は22°Cくらいですが、30°Cを超える猛暑の日もあります。冬の寒さは厳しく、1月や2月の最低気温はマイナス10°C近くになることも。

ハンガリーはどんな国？

面積：9万3,022平方キロメートル（日本の約25%）

人口：977万人（2020年1月、出所：ハンガリー中央統計局）

首都：ブダペスト 人口175万人（2020年、出所：同上）



有名な音楽家：リスト・フェレンツ（フランツ・リスト）

発明：ルービックキューブ建築学者ルビク・エルネー（エルノー・ルービック）が考案した立体パズル



「雄牛の血ワイン」とは？

首都ブダペストから列車で約2時間のところにある人口5万3千人余りの小さな都市エゲル（Eger）は、ハンガリーの二大ワイン産地の一つ。そのエゲルを代表するワインがビカヴェール（Bikaver）で、その名は『雄牛の血』という意味です。

エゲルは16世紀、ハンガリー軍がオスマントルコとの激しい戦いを繰り広げた地として知られています。最終的には白旗を上げますが、他の町が次々に陥落する中、最後まで戦ったのがエゲルでした。トルコ軍に包囲されたハンガリー兵士たちが籠城の末に死を決意し、城中の赤ワインを浴びるように飲んでから最後の決戦に挑んだところ、兵士たちの口元が赤く染まっているのを目にしたトルコ軍は、ハンガリーの兵士たちが『雄牛の血を飲んで戦っている』と思い込み、恐れおののいて退散したといわれます。『雄牛の血』というワインの名前はこの故事に由来するそうです。



『宇宙の片隅で常に朝』 珈琲も出店します！

河津 優平さん（ゆっぺい）・森田悟史さん（もりさと）

1995年米子市生まれ・米子市在住。幼馴染二人で、ヒットハイクで全国を回り、多くの人と知り合う。

淀江プロジェクトの第1弾（片付け）から参加。

米子市のまちなか拠点などにも携わり、映像・写真などのコンテンツを作る、こだわりの自家焙煎珈琲を淹れるなど様々な活動をしている。

